

地域で学ぶ
地域から学ぶ

地域と連携した学習活動

岡山県立邑久高等学校
課題研究&セトリー

後援・協働／瀬戸内市
助成／公益財団法人福武教育文化振興財団



邑久高校マスコット
キャラクター「せおちゃん」

地域の魅力と課題を学び、地域の活性化に 貢献するリーダーの育成

～Be a **SETOUCHI Leader!**～

Step① 〈セトリー〉 地域を知る



聞く

見る

行く

知る



聞き書き、インタビュー、企業訪問、見学、取材……

1・2年生は科・コースやグループごとに、地域の方から話を聞いたり
見学や訪問をしたりしながら、**地域について理解**を深めます。

〈協力〉瀬戸内市役所、市施設、瀬戸内市商工会議所、地元企業（オージー技研株式会社、株式会社岡山村田製作所、株式会社ブックス、木徳神糧株式会社、備前日生信用金庫）、邑久コミュニティ協議会、国立療養所長島愛生園、同窓生、地域で活動されている方々

特色ある科・コース

夢の実現に向けて自分らしさを伸ばす
～夢に向かって～

〈教科〉 学力を身に付ける

普通科
(文系・理系・美術・看護)



生活ビジネス科
情報ビジネスコース



生活ビジネス科
保育・食物コース



1・2年生は、科・コースの基礎となる普通科目や専門科目、特色ある多彩な選択科目の授業を通して、**進路実現に必要な学力と人間力**を身につけ、将来の自分の進路についての準備をしていきます。

〈特色ある授業の例〉 (1年) ビジネスマナー基礎、簿記、フードデザイン
(2年) 文学探究、時事研究、器楽、素描、マーケティング、保育基礎、食文化
(3年) 看護医療研究、ビジュアルデザイン、観光ビジネス、保育美術、実用書(硬筆)

Step② 〈セトリー〉 地域を探究する

普通科 1年

「瀬戸内市オリジナル
SDGsカードゲーム」
作成&小学校出前講座

自治体との
協働制作は
日本初!



SDGs目標 1.7
「パートナーシップで目標を達成しよう」

(市の今の状況は?・・・)
瀬戸内市では、地域にあった祭りが行われなくなり、地域の子どもが大人と触れ合う機会が少なくなった。
(行動)
子どもと大人が楽しめるようなイベントの情報を、多くの人に伝えるために、インターネットを使った。
↓
(問題)
インターネットを使わない高齢者にイベントの情報が伝わらず、集まる場が減って、孤独になる高齢者が増えた。

瀬戸内市が目指す姿 → 互いに学び合い、教え合い、人がつながるまち

普通科 2年(グループ別)

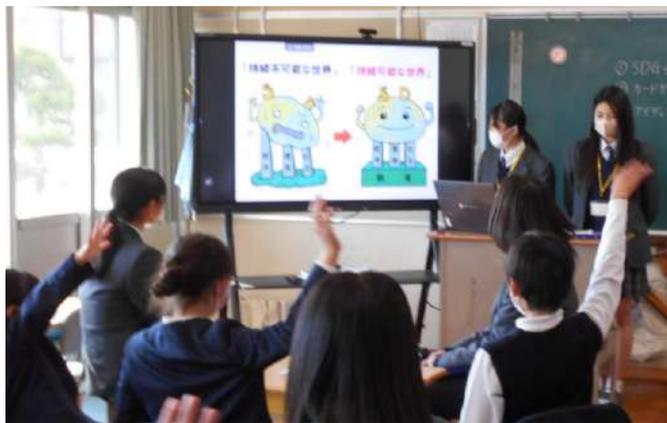
インタビュー



英語・教育
グループ
with
留学生の方々

取材

社会・経済
グループ
at
食のしあわせ
マルシェ



実験・観察

自然科学
グループ
about
アサギマダラ
&
ジャコウアゲハ



開催・実施

市内教育旅行
モニターツアー
by
文化・観光
グループ



普通科1・2年生は、総合的な探究の時間「セトリー (Be a SETOUCHI Leader!)」で**地域課題解決のための探究活動**に取り組みます。1年では市役所と連携して、発見した地域課題をもとにカードを作成します。

【目標】・地域と連携して、地域の課題解決や活性化に取り組む。

地域課題解決学習



長島愛生園訪問



瀬戸内市アンバサダーズを目指した活動

岡山県立邑久高等学校 観光・活性化グループ

1. はじめに

瀬戸内市の人口減少が今後ますます危機的な状況を知り、市内唯一の高校に通学する私たちが地域の方々と共に暮らしていくための対策を考えた。そして、これらの問題解決のため、可能な限り多くの行事に参加し、実感した魅力を長期的に広報活動することにした。

参考：住みやすい瀬戸内市にするためのアンケート(2019年実施 回答800人)

2. 研究内容



3. 研究考察

- 住民の中には「知っているけれど、行きたいけれど」という思いを持ちつつ、情報不足や移動手段・時間、その他の理由で「交流を楽しみ機会」を逃している方がいるのではないかと疑問が生じた。
- 「とにかくやってみよう」という精神で行動した結果、予想以上に楽しめ、人とのつながりが広がった。その体験をより多くの人にも味わってもらいたいため、活動を継続する必要がある。
- 私たち高校生のこれらの活動で、今後瀬戸内市の人口減少を抑えられるか、また移住者が増えるかどうかはまだわからない。しかし、地域で出会った方々の温かさや地域交流を大切にしたいという思いは強く感じた。是にそれぞれ行事は大勢の方々の協力や継承を頼りたくて盛り立てていこうという思いを感じた貴重な機会になった。

4. 今後の課題

- 歴史、文化、自然景や特産物の豊富な瀬戸内市の認知度を上げるため、私たちの活動体験をPR動画で発信する。

新たな提案

- 市内にユニバーサルデザインをより多く取り入れ、情報提供の機会を増やす。
- 小規模の公的コミュニティを醸成し、情報交換や交流の場を増やすことで、市民が楽しいと感じる時間の増加につながる。



普通科2年生は、グループに分かれて、瀬戸内市を研究対象として、**地域の魅力発信や課題解決**のための実践的な活動に取り組みます。疑問や問題を探究する中で、**課題解決能力や協働性**を身につけます。

〈課題研究〉 地域課題を**研究**する

生活ビジネス科 3年

情報ビジネスコース

観光コース



瀬戸内市の
魅力を引き出す
観光ツアー



【情報ビジネスコース 目標(課題研究)】

- ・様々な見学や経験、調査研究を通して、地域社会に関心を持つことで、学校内外の人々と共に学び、ビジネスに関連する技術を身につけ、地域社会を担う職業人として必要な資質・能力を育成します。
- ・商業・情報の見方・考え方を働かせて地域の課題を発見し、その課題を解決する力の向上を目指して、自ら学び地域の発展に協働的に取り組む態度を養います。

販売コース

瀬戸内市活性化
プロジェクト
コーヒー&かぼちぶタルト



保育・食物コース

保育専攻



こどもひろばを
交流や情報
交換の場に



食物専攻

瀬戸内市をテーマ
とした料理



刀剣、
牛窓の海
をイメージ



【保育・食物コース 目標(課題研究)】

- ・これまでの家庭に関する学習から地域の課題を発見し、その課題の解決を図るための実践的・体験的な学習活動を行います。
- ・学習を通して専門的な知識と技術の向上、問題解決の能力、自発的、創造的な学習態度を育てます。

3年生は専門科目での学習を活用・発展させた課題研究の授業で、地域と連携しながら、**地域の課題解決や魅力発信**に取り組みます。多くの**体験活動や実習**を重ね、**主体性や協働性**を身につけます。

Step③ 〈実践報告会〉校内外に発信する



1月の実践報告会（分科会・全体会）では、地域の方や後輩たちに向けて、グループごとに**活動の報告と成果の発表**を行います。校内外で成果を発信することで、地域への提言や課題の改善にもなっています。**地域と密接に関わりながら取り組む実践**は高い評価を受けています。



セトリーでのインタビューやアンケートの結果からデータを分析する活動は、瀬戸内市について知るだけでなく、私が大学で学びたいと思っているマーケティングについて学ぶ良い機会になりました。地域で活動する中で多くの経験を積んでいたため、大学の学校推薦型選抜を受験した時に、面接試験で落ち着いて自分の強みをアピールすることができました。

房延 彩恵香（高陽中学校出身）

ノートルダム清心女子大学・人間生活学部 合格



岡山県立 邑久高等学校

〒701-4221 岡山県瀬戸内市邑久町尾張404

TEL:0869-22-0017 FAX:0869-24-0329

<http://www.oku.okayama-c.ed.jp/wp>



homepage



instagram